

回答者 42 名

I 教育目標・計画について

	評価項目	はい	いいえ	わから ない	自由 記載
1	園の教育理念や、教育方針を理解している。	42	0	0	
2	園の教育方針に共感している。	41	0	1	
3	園の目指す子どもの姿を、具体的にイメージできる。	39	0	3	
4	指導計画は保育・教育要領及び子どもの姿をもとに作成している。	37	0	5	
5	指導計画に基づいて、子どもが主体的に関わりたくなるような環境構成をしている。	39	0	3	
6	保育の振り返りを行い、計画の評価・反省を次の保育や指導計画に活かしている。	37	0	5	
7	子どもが安全で心地よく過ごすことができる環境を常に心がけている。	42	0	0	

II 保育について

8	登園時、子ども一人ひとりの健康状態について確認している。	42	0	0	
9	子ども一人ひとりの発育や発達の状態について理解している。	40	0	2	
10	子どもの話によく耳を傾けるようにしている。	42	0	0	

11	それぞれの子どものありのままの姿を受け入れ、認めるようにしている。	41	0	1	
12	禁止、命令、せかす言葉や子どもの自信を失わせる言葉、名前を呼び捨てで呼ぶなどの言葉使いや態度にならないよう心がけている。	37	2	3	
13	子どもを褒めたり励ましたり、子ども自身が乗り越え、願いや目標を持てるような言葉かけを心がけている。	42	0	0	
14	子どもの思いを常に受けとめ、あたたかなやり取りやさキンシップを心がけている。	42	0	0	
15	子ども同士の仲間関係や年齢によっては力関係にも配慮をして保育を行っている。	41	0	1	
16	チーム保育に欠かせない情報の共有及び子どもの姿や活動について日、保育者同士で話し合い、振り返りを行いながら保育を進めている。	36	1	5	

Ⅲ 行事について

17	行事の種類や実施回数は適切である。	30	2	10	
18	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	35	1	6	
19	発達にあった活動範囲を明確にし、日常保育をベースに主体的な活動にしている。	38	0	4	
20	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	36	1	5	

21	保護者の願いや意見を受けとめ、必要に応じて反映させている。	41	0	1	
----	-------------------------------	----	---	---	--

IV 保護者への対応について

22	子どもの様子は、直接話をしたり、電話・連絡帳、ドキュメンテーションなどで伝えている。	41	0	1	
23	丁寧な言葉遣いと一線を引いた対応を心がけている。	42	0	0	
24	保護者からの依頼や伝言については、記録を残し、適切に対応している。	39	0	3	
25	保護者からの訴えや要望、意見については、よく話を聞いた上で、上司に報告している。	40	0	2	
26	保護者の前で園や教職員の批判は行わず、園児や家庭の個人情報については他言していない。	41	1	0	

V 職場のコミュニケーションについて

27	同僚や同チーム保育者から保育の相談を受けた時、誠意と忍耐をもって耳を傾けるようにしている。	40	0	2	
28	同世代だけでなく、年齢の違う同僚とも積極的にコミュニケーションを取るよう心がけている。	40	0	2	
29	上司や先輩、同僚の助言を素直に聞き、自分の考えや行動を修正することができる。	41	0	1	
30	職場環境の改善に必要と思うことがあれば、適切な場で発言や提案をしている。	33	2	7	

VI 資質向上について

31	保育者の人間性と在り様が子どもに影響を与えることを自覚している。	42	0	0	
32	園内の遊具や教材の使用法や危険性について理解している。	41	1	0	
33	常に保育者としての専門知識や技能を向上させようと努力している。	39	0	3	
34	子どもや保育、教育に関する情報を日頃から得ようと努力している。	39	0	3	
35	職場では正しい日本語、丁寧な言葉遣いを心がけている。	40	1	1	
36	服装、髪型、身だしなみ等、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている。	41	0	1	